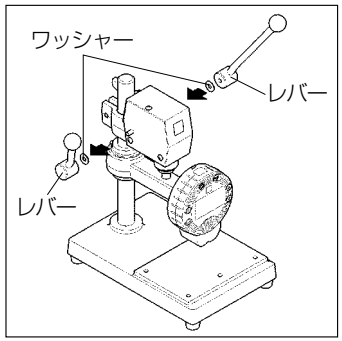
6. その他の機能

6-1. レバーの付け替え

出荷時は左側ですが、レバーは左右どちらにでも付け替えることができます。使用状況に応じて付け替えてください。

（1）レバー根元（内側）のボルトを外し、レバーとワッシャーを外します。

（2）外したレバーとワッシャーを反対側の軸へ差込み、ボルトで固定します。



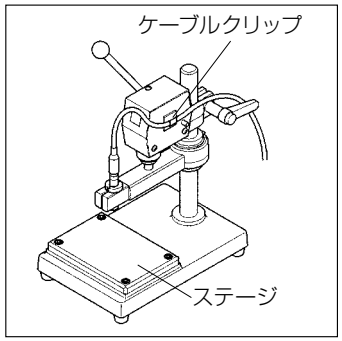
6-2. ケーブルクリップ

プローブタイプのセンサーをご使用の場合は、付属のケーブルクリップを使用すると、ケーブルを固定することができます。

（1）ケーブルクリップ裏面のシールをはがします。

（2）ケーブルクリップをお好みの位置に貼り付けて、ケーブルを固定します。

〈 ケーブルクリップ使用例 〉

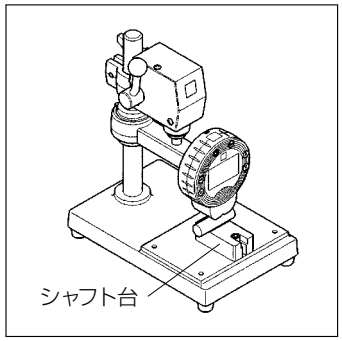


6-3. シャフト台

測定対象物が円柱状の場合は、付属のシャフト台を使用すると、測定しやすくなります。

（1）使用しているステージのボルト（4本）を外して、ステージを取ります。

（2）付属のシャフト台を使用目的に合わせて位置を調整し、付属のボルトで固定します。



Kett

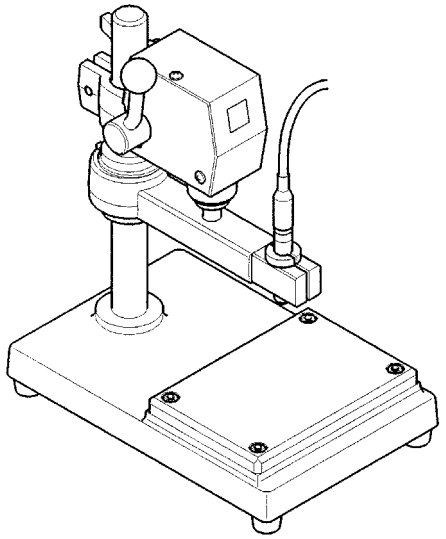
株式会社ケツト科学研究所

東京本社　東京都大田区南馬込1-8-1 〒143-8507　TEL(03)3776-1111 FAX(03)3772-3001
大阪支店　大阪市東淀川区東中島4-4-10 〒533-0033　TEL(06)6323-4581 FAX(06)6323-4585
札幌営業所　札幌市西区八軒一条西3-1-1 〒063-0841　TEL(011)611-9441 FAX(011)631-9866
仙台営業所　仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル 〒980-0802　TEL(022)215-6806 FAX(022)215-6809
名古屋営業所　名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル 〒450-0002　TEL(052)551-2629 FAX(052)561-5677
九州営業所　佐賀県鳥栖市布津原町14-1 布津原ビル 〒841-0053　TEL(0942)84-9011 FAX(0942)84-9012
●URL http://www.kett.co.jp/ ●E-mail sales@kett.co.jp

0712・AI・0101・050_S

膜厚計用スタンド　LW-990

取扱説明書



1. 機能と特長

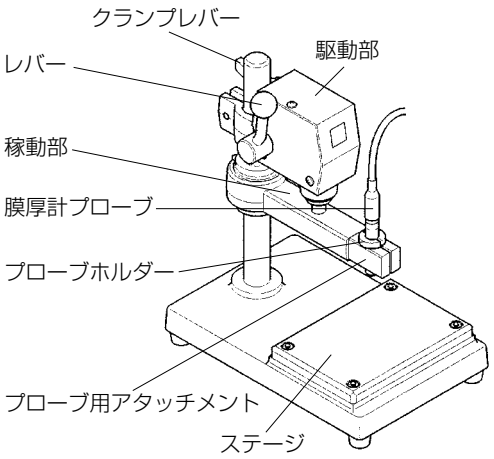
膜厚計用スタンド LW-990は、膜厚測定時の手振れを防ぎ、より精度の高い測定を行うためのスタンドです。プローブタイプの膜厚計およびハンディタイプの膜厚計（LZ-990）に対応しています。

2. 仕様

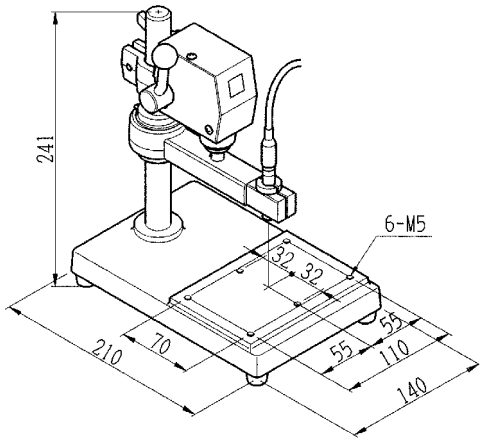
寸　法　：150（W）×210（D）×280（H）mm
質　量　：2.5kg
対応センサ：プローブタイプ：LEPおよびLHP-20/20C/30/30C/J
　　ハンディタイプ：LZ-990
付属品　：ネジ×2、LZ-990用アタッチメント、ケーブルクリップ、
　　プローブホルダー（黒・白）、プローブ用アタッチメント、ボルト、シャフト台、
　　六角レンチ×2、付属品ケース、取扱説明書

3. 各部の名称

<本 体>



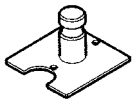
<寸 法>



＊LE-200Jのプローブを取付けた例図です。膜厚計プローブは本製品には付属されていません。

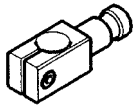
4. 付属品

ネジ×2
（LZ-990用アタッチメント用）

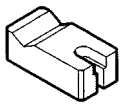

LZ-990用アタッチメント

ケーブルクリップ

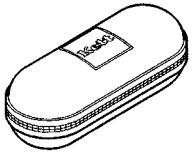
プローブホルダー（黒・白）


プローブ用アタッチメント

ボルト
（シャフト台固定用）


シャフト台

六角レンチ ×2


付属品ケース

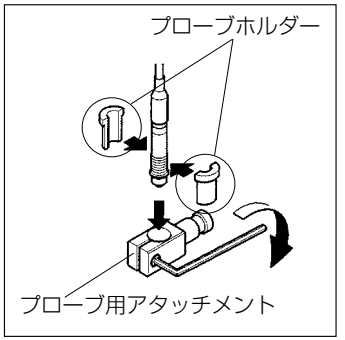
取扱説明書
（本紙）

5. 使用方法

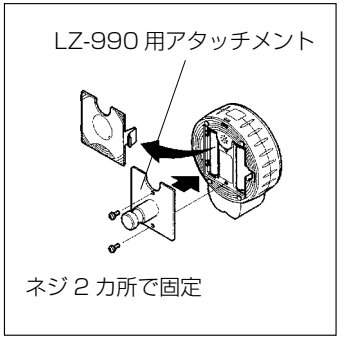
5-1. 膜厚計のセット

（1）プローブ用アタッチメントまたはLZ-990用アタッチメントに膜厚計をセットします。

《 プローブタイプの場合 》
プローブホルダーを左右からプローブの径に合わせます。プローブ用アタッチメントに差し込み、ボルトを締めて固定します。



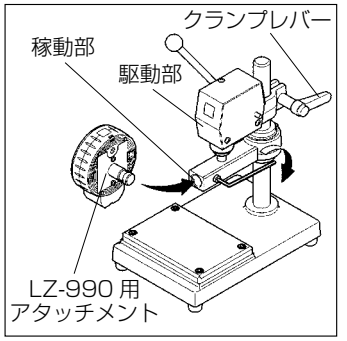
《 LZ-990の場合 》
膜厚計LZ-990の背面の電池蓋を外します。外した電池蓋の所に、LZ-990用アタッチメントをセットして、ネジ（2カ所）を締めて固定します。



（2）プローブ用アタッチメントまたはLZ-990用アタッチメントを稼動部の先端に差し込み、ボルトを締めて固定します。（例図はLZ-990）

（3）クランプレバーを緩めて駆動部の高さ調整を行い、クランプレバーを締めて駆動部を固定します。

ご注意 ＊高さ調整を行うときは、駆動部を落とさないように注意してください。



5-2.測　定

（1）レバーを引き上げ、ステージに測定対象物を置きます。

（2）レバーを静かに下ろします。

ご注意 ＊レバーを急激に下ろすと、衝突によって膜厚計が故障する可能性があります。

（3）各膜厚計の取扱説明書を参照して測定を行います。